

(参考)鳥取型防災教育実践モデル校の取組状況について

平成24年1月 / 鳥取県危機管理局消防防災課

子どもたち一人一人が自然災害を正しく理解し、災害時に自らの判断で的確な防災・減災行動が取れるよう、また、地域防災力の向上へつなげるため、昨年度から防災教育実践モデル校を選定し、体系的な防災教育の推進に重点的に取り組んでいます。

平成23年度の取組状況については、下表のとおりです。

対象校	県内で3校を選定 ・鳥取市立明德小学校(東部) ・倉吉市立高城小学校(中部) ・大山町立大山西小学校(西部)
実施回数	年4回以上
実施計画	年間を通じ、関連する教科及び学校行事において実施
実施方法	・鳥取大学への委託により、鳥取大学の教授等が学校を訪問して実施。 ・学校教員が、鳥取大学から学習の進め方等について指導・助言を受けて実施。
内容例	<ul style="list-style-type: none"> ・1年(学級活動)防災 ×クイズ ・1・2年親子(運動会)防災関連競技の実施 ・2年(生活)起震車体験 ・3年(国語)防災川柳づくり ・3年(保健)応急手当について ・4年(図工)ペットボトルランタンづくり ・4年(社会)水害について ・5年(理科)水害について ・5年(体育)着衣水泳 ・6年(理科)地震について ・6年(図工)紙ぶるるを作ろう ・職員(職員研修)防災教育とは ・全児童、保護者、住民(学校行事)地域と連携した避難訓練 ・全児童、保護者、住民(地域行事)地域防災訓練、非常食体験 <p>【協力機関】 公民館、消防署、日本赤十字社、市町村、その他防災機関等</p>